

2月定例県議会一開会

## 福祉・教育・環境に重点において県民の願いにこたえる

### 「信州モデル創造枠予算」—17年度は109億円に

予算総額8,530億円、前年度比マイナス2.6%。国の「三位一体改革」で、地方交付税が74億円削減され厳しい緊縮予算となっています。そのなかで、30人規模学級4年生まで拡大、養護学校へ常駐の看護師配置、養護学校高等部訪問教育年齢制限撤廃、宅幼老所の支援充実、児童虐待防止強化など、県民の願いにこたえ、借金を減らしながら、きめ細かい福祉や教育、雇用のための施策が盛り込まれた新年度予算が提案されました。しかし県民の負担増となる高校授業料などの値上げなどは議会で指摘していきます。

部局ごとの施策は次号から特集します。

## 下水道発注にともなう情報公開問題について

14日におこなわれた県議会総務委員会で石坂県議団長は、「知事が、情報公開を阻んだ事実があるかどうか、およびそのことによって不正な発注がおこなわれたのか、検証しよう」質しました。小林公喜総務部長は「情報公開を阻んだ事実があるのかどうか、公共事業の受注に影響があったのかどうか調査し報告します。」と答えました。

この問題について石坂県議団長は「後援会幹部とされる人物の『要望』内容は、『県内下水道事業は、県内地元業者に優先的に受注してほしい』というもので、これ自体は県民の声でもあります。前県政時代は、県外業者に独占的に発注されていたもので、日本共産党は一貫して『地元優先』を主張してきましたし、県議会でも決議されています。」同時に、「後援会幹部が不当な手段で公共事業を優先的に受注していれば問題ですが、現時点ではそのような事実は確認されていません。」とコメントしています。

### 新年度予算審議の県議会に傍聴におでかけください

代表質問	2月24日午前10時より	藤沢のり子県議
一般質問	3月7日午後1時より	毛利 栄子県議
”	8日午前10時より	高村 京子県議
”	9日午前11時より	小林 伸陽県議

ご要望をお寄せください

連絡先：日本共産党長野県議団 長野市南長野幅下692-2  
TEL 026-237-6266 FAX 026-237-6322ホームページ <http://www.avis.ne.jp/~up/> E-mail [jcpngnkd@avis.ne.jp](mailto:jcpngnkd@avis.ne.jp)